

「特集1」

# 京都・知恵アントレ大賞2024受賞者決定！

京都経済の未来を担うスタートアップ企業の発掘・育成を図るため、これまでになく発想や技術で社会課題の解決を目指す起業家・アントレプレナーを表彰する「京都・知恵アントレ大賞」。3回目となる今回は応募総数35件から厳正なる審査を経て、3名の受賞者を決定しました。



7月23日、京都商工会議所通常議員総会にて、表彰式・受賞者プレゼンテーションを実施しました

## 〈 講 評 〉



**齋藤 茂 審査委員長**  
京都商工会議所 副会頭  
株式会社トーセ  
代表取締役会長 兼 CEO

3回目を迎えた京都・知恵アントレ大賞2024は、ライフサイエンス、環境・エネルギー、フードテック、教育・文化等、多様な分野からの応募があり、創業からの年数が浅い企業からのチャレンジも多く、それぞれが着目した社会課題の解決に対し、熱意とスピード感を持って取り組まれていると感じました。サポーター企業や産業支援機関をはじめとする皆様からのご支援を通じて、受賞された3名の起業家の技術やサービスが京都から世界に向けて大きく飛躍し、京都経済を大きく牽引することを期待しています。

## 〈 実施体制 〉

### サポーター



### 後援



### 共催



### 協力





ディープフォレスト テクノロジーズ  
**DeepForest Technologies株式会社**  
 オオニシ マサノリ  
 代表取締役 **大西 信徳** さん



## 「世界中でドローンが森林管理・保全に役立つ未来へ」

社会課題解決に向けた期待

日本では林業従事者の減少等で放置された人工林が増加する一方、海外の熱帯雨林では牧草地や高収益作物への転換により森林が減少して生態系が影響を受けること等が、社会課題となっている。また、森林の収益化機会として考えられるカーボンクレジットも、従来の人による現地調査や航空機による計測はコストが高く登録数が伸び悩んでいる現状がある。

ドローンを活用した、誰でも簡単に森林の情報を解析できるソフトウェアの提供で、森林管理の効率化や森林の収益性向上を図ることができ、森林や自然環境が積極的に守られる社会の実現が期待できる。

### 協業のポイント

○カーボンクレジットを購入することでカーボン・オフセットに取り組みたい企業の方

▼カーボンクレジット購入に向けたヒアリングの実施

○森林を保有しており、管理の効率化や森林の収益化に取り組みたい企業の方

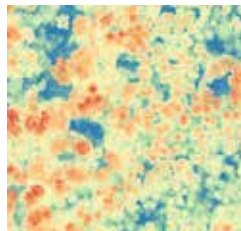
▼「DF Scanner」「DF LAT」の導入

### 計測の精度とコスト



サービスの内容

- ①ドローンで計測したデータから樹種やサイズ、炭素蓄積量を木1本単位で推定する「DF Scanner」
  - ②カーボンクレジットの創出に必要なレーザードローンで計測したデータを森林解析用に処理する「DF LAT」
- 主にこの2つのソフトウェアの提供により、計測コストの削減や森林状態の見える化を進める。今後はカーボンクレジット取引のマーケットプレイスや、クレジットを購入した森林の状況を見える化する機能の実装にも取り組む。



「DF LAT」で作成した樹高マップ



「DF Scanner」によるAIを使った樹種識別



アルクタス セラピューティクス  
株式会社Arktus Therapeutics

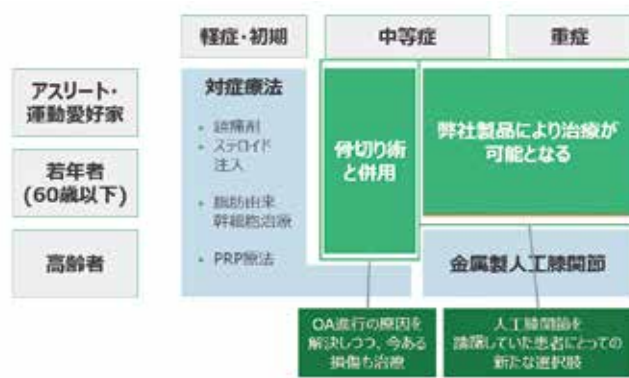


オオイワ トモヒロ  
代表取締役 大岩 智大 さん

## 「iPS細胞由来の細胞製人工膝関節の開発」

社会課題解決に向けた期待

変形性膝関節の疾患は、従来の治療法では手術後の動きが制限される等、若年層やアスリート、活動的なライフスタイルを送りたい高齢者にとって十分ではないといえる。そうした課題解決にむけ、京都大学・佐賀大学の研究成果を基にiPS細胞を活用し、細菌感染に強く、耐久性の高い軟骨インプラントの開発に取り組む。新たな治療の選択肢となる同社の取り組みの実用化により、健康寿命やアスリート寿命が延び、より健やかで豊かな社会が実現できる。



サービスの内容

京都大学iPS研究所と佐賀大学の研究成果を基に3D造形で生成したiPS細胞由来の軟骨製品(インプラント)の開発を行う。

- ① 範囲・曲面・深さのある軟骨の損傷に対して治療が可能
  - ② 細菌感染に強い
  - ③ ヒト軟骨と同等の耐久性を持つ
  - ④ 癒着がなく再置換が容易
  - ⑤ 治療後の運動制限がない
- 等が特長で、これまでにない新たな治療の選択肢を提供。研究レベルでは既に動物での実験に成功しており、今後非臨床試験・臨床試験を経て製品化を目指す。



開発中の細胞製人工膝関節

協業のポイント

○ 医療機器メーカーや医薬品メーカーの方

- ▼ 製品供給や販売での事業連携や出資の検討
- ▼ iPS細胞由来の間葉系幹細胞(iMSC)を活用した製品の研究開発における協業



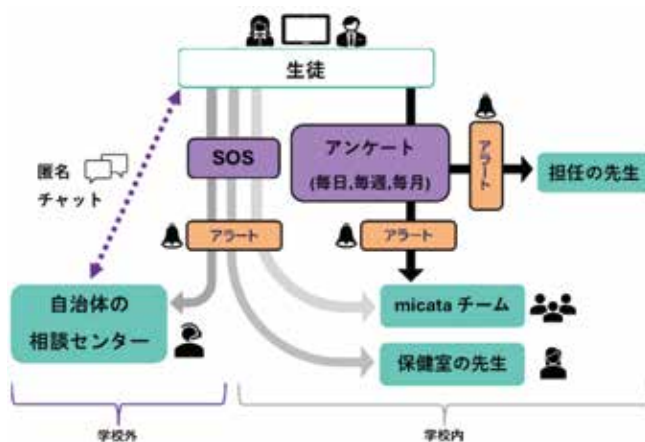
ガーディアン  
株式会社Guardian  
ケイトリン プーザー  
代表取締役 Caitlin Puzzar さん



「児童・生徒SOSコミュニケーション支援システム「kimino micata」」

社会課題解決に向けた期待

子どものいじめの認知件数や不登校の児童・生徒数、児童虐待の相談件数は増加傾向にあり、その対策の必要性は高まっている。デジタル機器に慣れ親しんだ現代の子どもたちが、スマートフォンやタブレットを使って「いつでも」「どこでも」声をあげられるような環境をつくり、いじめや虐待等のサインをいち早く検知する。子どもの権利の尊重を重視した「子どもファースト」のシステムを提供することにより、子どもたちが、安心して生活できるような社会の実現を目指す。



サービスの内容

児童・生徒のSOSコミュニケーション支援システム「kimino micata (キミノミカタ)」を提供。

〈機能〉

- ① 年齢に応じた4段階の設問設定
- ② ひらがなや英語への表記切替の対応
- ③ 生徒の承諾後の結果共有
- ④ 外部の相談機関と連携し生徒が匿名で直接悩みを相談できる機能を実装

今後は相談センターを持たない自治体向けに、臨床心理士等より編成される独自の「相談センター」の機能の整備を予定している。



アンケート画面(一例)今の気持ちを絵文字から選択できる

協業のポイント

○コンテンツ産業の分野に関係する企業の方

▼子どもたちがアンケートに楽しく取り組めるようなプログラムカスタマイズの共同開発、子どもたちの利用促進のためのコンテンツ開発

○学校法人、学習塾等、子どもの教育に携わる団体・企業の方

▼「kimino micata」の導入